

廃棄物による環境への影響を軽減する

<b>南部埋立処分場処分量(t) し尿の海洋投棄量(kl)</b>		排出されるごみを減らすための施策を講じるとともに、再生可能物の資源化を促進します。 また、可燃ごみの適正な焼却を実施するため、北部清掃工場の円滑な運営を行います。 さらに、新総合ごみ処理施設の建設計画に着手します。 し尿等の海洋投棄については廃止して全量を陸上処理するよう努めます。	新総合ごみ処理施設建設事業	平成25年稼働を目指してリサイクルを含めた総合ごみ処理施設の建設をすすめるため、整備事業計画策定や環境影響評価等を行います。	ごみ収集体制の見直し	生活環境課
平成14年度値	28,657t (21,077t:焼却灰除く) 7,544kl		再生可能物処理事業	市内全地域においてペットボトルの分別収集を開始します。		
平成15年度見込み値	21,800t 1,000kl		天然ガス車導入事業	塵芥収集車に排気ガスがクリーンな天然ガス車を導入します。		
平成18年度目標値	16,800t 0(H16年度)					